

第2回 準備会「分科会」での意見交換内容について

1 主な意見・課題（A 指導者 B 種目の継続実施 C 生徒・保護者 D 来年度以降の方向）

①グループ（野球・ソフトボール・サッカー）

- ・豊田中野球部は、合同チームで出場したが、現在休部中。シニアに入る子が多いが、部活として軟式野球をしたい子もいる。（B・C）
- ・南宮中野球部は17名いる。クラブチーム化する方向で動いている。（D）
- ・中野平・高社・豊田で合同チームを組んでも人数が少ない状況。指導者の資格（ライセンス）がないと全国規模の大会へ出場できないが、取得には数万円かかる。（A）
- ・中野平中のサッカー部はスポ少として地域移行ができないか探っている。エスペランサとの住み分けを考えたい。（D）
- ・指導者の育成もしなければならない。手当にもつながると思う。（A・B）
- ・運営体制の確立が課題。事務局をどうするか。クラブチームとなった時の保護者の負担は？大会運営も含めて中体連の動きが見えてこない。（C・D）
- ・経済格差にかかわらず「やりたい子」が受け入れられる体制をつくりたい。（C）

②グループ（バレー・バスケ）

- ・委任指導については、学校を選ぶことや地域によって差が出ないように進めていきたい。（C）
- ・地域指導者は、教育委員会の方で指導者リストを作ってほしい。また、地域指導者を探してほしい。（A）
- ・地域移行により、その活動を続ける生徒が減ってしまうのではないかと。また、生徒の居住地域によって、できる活動に差が出ないようにしたい。（C）
- ・部活動で揃えた備品について、その活用を考えてほしい。（D）
- ・地域クラブの規模（中学校区か市か等）や学校から活動場所への移動について、市で方針・方向を示してほしい。（B・D）

③グループ（陸上・卓球・ソフトテニス）

- ・陸上については、指導者組織もできそうなので、休日の合同練習からはじめたい。部活動としての実施とすれば、顧問・部活動指導員・外部指導者については、今まで通りの対応で可能。その他の指導者等についてはボランティアでお願いしていく。会場使用料や練習場所への送迎については保護者負担をお願いする。（A・D）
- ・地域クラブとしての活動となると、保険料年間800円、競技者登録料・会場使用料・事務経費等で入会費が必要。また指導者謝礼としての月謝が必要となるだろう。（C）
- ・スマイルクラブでは、年会費1000円、保険800円、月経費600円程度で運営している。（C）
- ・上位大会への出場や遠地での協議会へ参加する場合は、交通費等が発生するが保護者負担となる。（C）
- ・体育施設について、中野市の中学生（小学生）は減免してほしい。（C）
- ・ソフトテニスは、南宮中のみであり、できるところまで部活動として継続していきたい。（B・D）
- ・卓球は、各学校で活動できる環境が整っている。指導人材をどう集めるかが課題となっている。データベース化が必要。（A・B）

④グループ（柔道・剣道・空手・体操 等）

- ・中体連がなくなって、それぞれの連盟で大会運営することは難しい。全国大会はどうなるのかが見えてこない。(B)
- ・今まで、中体連と競技連盟で連携してやってきた。中体連のみなくすことは難しいだろう。(B)
- ・好きでやっている人や一部の指導者に負担が大きいのしかかる。後継者が出てくる形へ。(A)
- ・現在、指導者はスポ少・部活動のどちらかにしか入れない。各競技団体が集まって、指導・運営の組織化を行う必要がある。(A)
- ・部活動のように平日放課後に活動を行うには、指導者の雇用が必要だと考える。地域クラブ化する場合は、夜の活動となるのは仕方ない。(A・D)
- ・基本方針を示してほしい。中体連をなくすのかどうか、部活動を残すのかどうか、指導者への報酬をどうするのか等。(D)

⑤グループ（吹奏楽・文化部関係）

- ・合唱は、中学校になると中野平・高社・豊田ではできなくなってしまう。ないところから「私もやりたい」とはならない。小学校からつながる形はできないか。(B)
- ・教員が自分で地域クラブを立ち上げることは難しい。既存の団体に入ることは可能。(B・D)
- ・コンクールや発表の場がないと生徒は集まらない。今ある晋平少年少女合唱団の吹奏楽バージョンを立ち上げることはできないか。(B)
- ・楽器や保管場所の課題は出てくるが、工夫できるのではないか。
- ・平日の練習を集まってやるのは難しい。休日については、継続的に活動できる場（学校含む）や大きい楽器の移動（保管）等をクリアできれば、合同での活動ができると思う。(D)

2 発表後の質疑

○学校単位での地域移行か、市としての地域移行かについて、指導者や顧問の先生で考え方が違う。同じ種目で意見交換しても決まっていかないので、方向性がほしい。

⇒現時点では、種目ごとに部活動の現状や課題も違い、統一した方向を示せない。本日のように、それぞれの種目で意見交換を重ねて、その意見を上げてほしい。R6年度は、学校の部活動が成り立つ場合については、学校中心に考えてよい。